

受付番号	
事業区分	経営者研修会事業
実施機関名	株式会社 ソフトアカデミーあおもり [URL : <a href="http://www.soft-academy.co.jp/">http://www.soft-academy.co.jp/</a> ] (実施都市名 : 青森県青森市)
テーマ名称	
主催	主催 : (株)ソフトアカデミーあおもり、 IT経営応援隊事務局 (独立行政法人情報処理推進機構、社団法人日本情報システム・ユーザー協会、特定非営利活動法人ITコーディネータ協会)
原稿作成年月日	平成22年1月22日
作成者名 (公開したい場合のみ記載)	[資格] [氏名] [E-mail] ・ ITコーディネータ 澤田 徳寿 氏 itc@xb3.so-net.ne.jp  ・ 細川 弘樹 : hosokawa@soft-academy.co.jp (株式会社 ソフトアカデミーあおもり 事務局担当)
事業を支援した専門家名 (公開したい場合のみ記載)	[資格] [氏名] [E-mail] ・ ITコーディネータ 澤田 徳寿 氏 itc@xb3.so-net.ne.jp

〔キーワード〕 \* 検索のためのキーワード

経営戦略企画書、IT戦略企画書、IT経営、経営改革、経営改善、効果的な情報化投資

〔テーマを取り上げた狙いと目的・目標〕 \* 簡潔に分かりやすく、できるだけ定量的に。

- ・ 本研修は、経営改善意欲の高い青森県内中小企業経営者、次世代を担う若手経営幹部・幹部候補として経営者より推薦をいただいた方々を対象にして行った。
- ・ 経営革新のために必要な状況認識から課題解決までをまとめた経営戦略企画の立案を通じ、経営革新の具体的な対策方法を学んで体験してもらうことを主眼に置いて実施した。
- ・ 具体的な集客目標は6名以上、うち成果品提出を8割以上、今後の継続的な経営改革につながる様々な施策のご紹介をすることを目標とした。

〔研修会事業の概要〕

- ・ テーマ名 : 「1日でわかる経営改善手法～今の経営を変えるために～」
- ・ 時間 : 合計 6時間 (1日間)
- ・ 会場 : 株式会社 ソフトアカデミーあおもり 2階研修室
- ・ 当研修会への取り組み  
当研修会は、実施機関である株式会社ソフトアカデミーあおもりが講師と綿密な打ち合わせをし、集客対象の検討も含め連携して実施した。  
研修内容は、前半の事例学習を通じて経営戦略立案の考え方を学んでいただき、それを元に後半では各団体の経営見直しを図るための現状認識 (SWOT分析や自社の成熟度チェックリスト) を成果品作成を通じて行っていただくこととした。

- ・日程及びテーマ等  
H22.1.26【【テーマ：IT経営の理解と事例学習】】
- ・IT経営の基本事項、研修の意味合いの理解
- ・事例の紹介、ケース企業を想定した学習
- ・現状の事業ドメイン分析、SWOT分析
- ・新しい事業ドメインの構築
- ・経営課題の特定、重要成功要因の抽出
- ・戦略マップの作成
- ・IT経営成熟度の設定
- ・IT経営実践のススメ（成熟度診断）

【写真】



写真1：H22.1.26  
講師による講義風景

写真2：H22.1.26  
講師による講義風景



写真3：H22.1.26  
講師による演習指導



写真2：H22.1.26  
演習検討の様子

〔研修会事業で使用するテキスト〕

ITコーディネータ協会教材「1日研修用 受講者用教材」を利用。

#### 〔研修会事業での成果〕

##### 1. 目的・目標に対して実現した成果

集客目標、成果品の提出、受講後のフォローアップについて、ほぼ目標を達成することができた。

- ・受講者の約 85% (7名参加者中6名) がSWOT分析、自社の成熟度チェックリストを作成し、自社の現状認識を深めていただくことができた。
- ・受講企業のうち1社は東北IT経営応援隊 訪問コンサルティングの中で講師が経営改革を支援中。

##### 2. 研修会事業で参加者の今後の活動に期待される成果

- ・今回参加した受講者の方々には、ケース事例からのIT経営の基本的な考え方、自社の現状認識について検討いただいた。これをそれぞれ自社に持ち帰り、実際の経営の場面で活かしていただくことで、今まで場当たりの・直感的に行ってきた部分を見直し、経営改革につなげていただくことが期待でき

#### 〔研修会事業の評価〕

##### 1. 研修会事業の成功要因

- ・講師・事務局とともに企画、集客、研修会後のフォロー施策紹介までの流れの打ち合わせをし、経営改革の推進のお手伝いをすることができた。

##### 2. 研修会事業での課題

- ・集客がやはり課題であることは明らかである。  
今後は金融機関を含めた中小企業支援団体の緩やかな連合体で分配して集客することが、多数の方々に研修の受講機会を伝える上で、効率的であり、説得力もあると思われる。  
青森では今年度までの努力により、日本政策金融公庫、地銀、信金、商工会連合会とネットワーク次第に厚くなってきているため、これらを組み合わせて手厚い中小企業支援を展開していくことが今後の課題となっていると思われる。

### 3. 研修会事業に対する実績評価・感想

- ・青森県では未だに経営改革やIT経営の考え方に関し「気付き」の段階にある企業が多いため、経営者研修会は継続させる必要性が非常に高い。  
今後も研修会事業を継続し、中小企業の経営改善への入り口を多く設けることが望ましい。  
ただ、青森県経済は冷え込んでおり、企業体力も十分でない企業が多いこともあり  
研修会実施だけではその後の経営改革にまでは発展しない事が多い。  
研修会を実施する事務局を始めとして、集客を担当する  
金融機関、その後の中小企業を支援する中小企業支援団体と川上から川下まで、サポートする  
支援体制の確立が重要となっている。今年度、新しく地方銀行がそのネットワークに参加し、  
支援期間として商工会連合会も連携でき、少しずつ県内支援体制が整いつつある。  
情報化においてまだまだ遅れをとっている青森県にとって、  
その最初の入り口である今回実施したような研修会事業は意義深く、  
体系的な経営改革をサポートしていく展開の中ではぜひ事業を継続していただきたいと考えている。

- ・事務局からは以下の感想をいただいている。

最初に、この貴重な機会をご提供いただいたIT経営応援隊殿に感謝申し上げたい。

昨年に続いての実施となったが、まとまった時間がとれない経営者・経営幹部の方にとってこのコースは1日コンパクトにIT経営の考え方を学び、自社の課題についても検討できるよくまとまったコース内容であると思

今回のコースでは、昨年度に当社で実施したIT経営応援隊事業研修会で受講した経営者が、

自社の経営幹部の方々に受講を勧めていただいて4名出席いただいた。

事業を継続して実施していく大切さを改めて感じた。

講師の方には充実した授業をしていただいたばかりではなく、集客面においても過去の受講企業に熱心に呼びかけをしていただくなど様々ご協力いただき、感謝を申し上げたい。

今後の展望としては、県内各団体との連携を深め、研修実施後も  
受講者のお役に立てるサービスの提供ができるよう、努力を進めて行きたいと考えている。